

取扱説明書

X2S-C

MULTI GAUGE ø60

この度はPIVOT X2S-C スズキ (CAN 通信車) 専用用品をお買い上げ頂きありがとうございます。お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V専用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	---

1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。

2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。

3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。
http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html

内容物をご確認ください



X2S-Cの特長

X2S-Cは故障診断コネクタに差し込むだけでスズキ専用のCAN通信を解析し、2種類を切替表示できるメーターです。(対応車以外は不可)

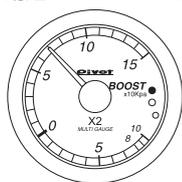
2種類表示	ブースト・水温の2種類を切替表示	ピークホールド	ピーク値を記憶し表示
スムーズ動作	独自制御で滑らかな針動作	カプラーオンの簡単装着	故障診断コネクタとシガライターソケットに差し込むだけの簡単装着
見やすいLED透過照明	ムラのないLEDによる透過照明	ステッピングドライブ	高精度ステッピングモーター採用で高精度表示

各表示と用途

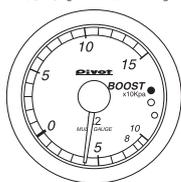
1. ブースト (絶対圧表示※1)

表示 -100~150Kpa

用途 ●ブーストチェック ●エコ走行用 [バキューム]



[ブースト] 70Kpa 表示例



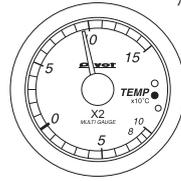
[バキューム] -40Kpa 表示例

※1 絶対圧表示は気圧を含みますので相対圧 (機械式) と多少数値が異なる場合があります。
 ※1 キーON時のブースト指針は標高に応じて多少マイナスの表示となる場合があります。
 ⚠ ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。

2. 水温

表示 -40℃~150℃

用途 ●オーバーヒート ●暖機チェック など



95℃表示例

3. ピークホールド

用途 ●瞬間的な最大ブーストチェック (ターボ車) ●最高水温チェック

オープニングデモ

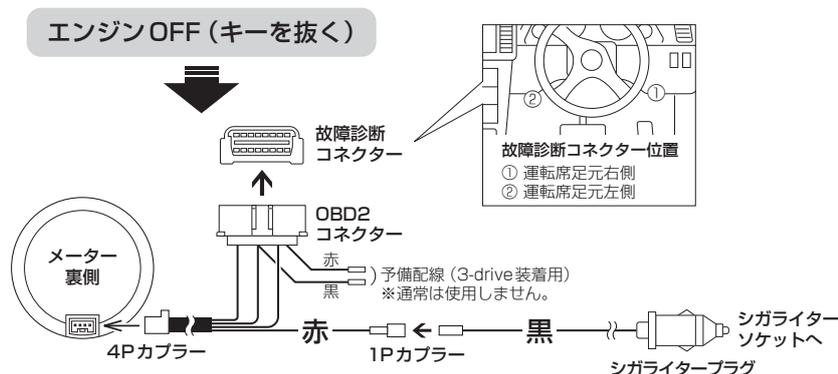
オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、現在の表示項目に移行します。
 ※CAN通信解析のためにエンジン始動後オープニングまで最大10秒かかる場合があります。

イルミ (文字板照明)

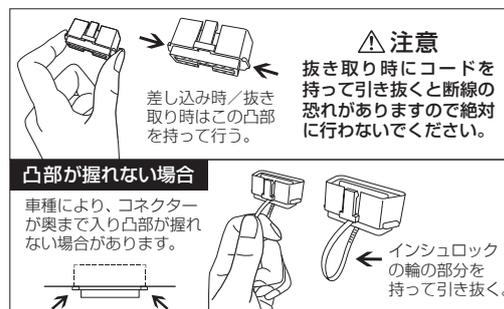
動作中は常時点灯状態ですがLEDのためクルマへの負担や寿命には影響ありません。

配線接続方法

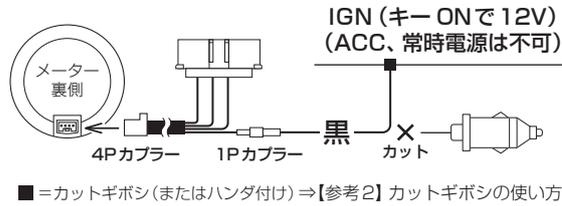
各配線は エンジンをOFFにし、キーを抜いた状態で行ってください。



【参考1】OBD2コネクタの取扱注意



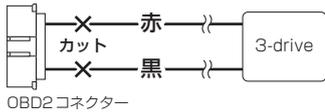
！ こんどときは
シガライターソケットを使わない、または、エンジン始動でメーターが動作しないことがある場合
シガライターソケットを使用せず配線を直接行う場合は、右図を参考に黒コードをカットして配線してください。



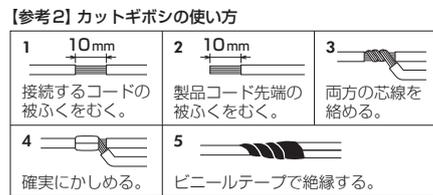
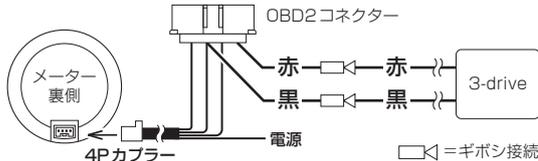
■ = カットギボシ(またはハンダ付け) ⇒【参考2】 カットギボシの使い方

！ こんどときは **PIVOT製3-driveシリーズと併用する場合** ※
別売の「OBD2配線キット」(OBD-EH 税込¥3,360)をお使いいただくか、3-driveのOBD2コネクタをカットし、X2S-Cのギボシ付のコードに接続してください。
※3-driveを同時装着する場合は、それぞれの対応車種に該当する車種のみとなります。

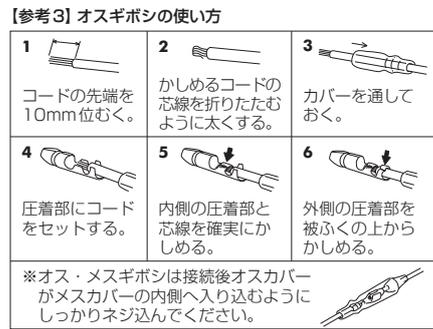
- ① 車輻側の故障診断コネクタからOBD2コネクタを抜く。
- ② OBD2コネクタから出ているコードを適当な位置で切断する。



- ③ 黒、赤コードにギボシを付け、確実に接続する。
⇒【参考3】 オスギボシの使い方



※かしめる際は圧着ベンチを使用するか、ベンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。



製品の固定

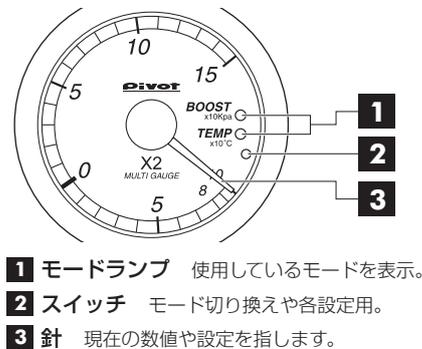
車内の見やすい場所へ取り付けます。

A. バンドホルダーを使用する
強度のある場所へ両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュ上など)

- ① ネジを多少ゆるめ、メーターをバンドホルダーへ装着。
- ② 装着面の形状に合わせてスタンドを曲げる。
- ③ 両面テープで固定。(貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。)
- ④ 見やすい角度に合わせてからネジを固定。

B. パネルなどに埋め込む
メーターの根本にクッションテープを巻き、直径60mmの穴に圧入状態で差し込みます。

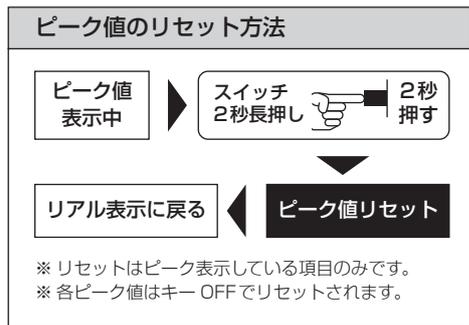
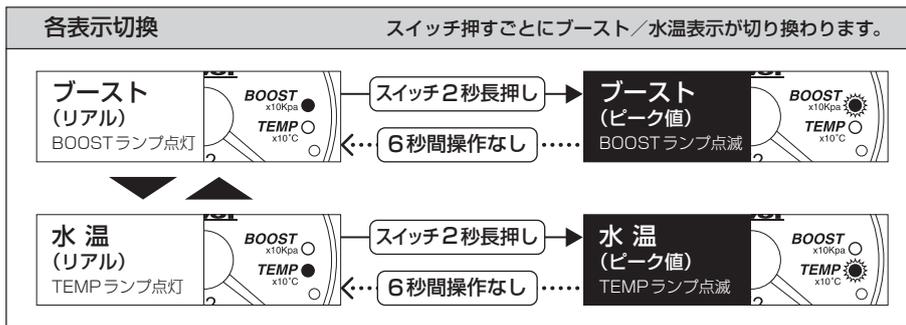
各部の名称



基本操作方法

※3 CAN通信解析のためにエンジン始動後オープニングまで最大10秒かかる場合があります。

- 1 **キースイッチ ON** (エンジン始動)
- 2 **オープニングデモ** ※3
- 3 **ブースト/水温表示**
- 4 **キースイッチ OFF** (エンジン停止)
- 5 **メーター OFF**
針はオープニング位置で止まります。



故障と思われるまえに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	4Pカプラー・OBD2コネクタ・シガライタープラグの接続不良。 対応外の車種に取り付けている。 メーターとECUの起動スレが生じるため。	再度ご確認ください。 対応車種表をご確認ください。 シガライターソケットを使用せず、電源をIGN(キーONで12V)に変更してください。
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。	
キーON時ブースト指針がマイナスになる。	絶対圧センサーは気圧分をマイナスして表示します。(例：標高700m地点=マイナス8Kpa)	
始動時、切り換えたモードから始まらない。	モード切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると設定は記憶されませんので3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で異常ではありません。	